

## 中野区役所

51分前 ·

町会ひよこレポートNo.31 まちなかサロン「いろり」  
まちに優しさの輪を広げる！「憩いの場」

こんにちは。町会ひよこ「見習い」のしゅりです。私は、この夏にインターンシップ制度を利用して、中野区の仕事を学びに来た法政大学の学生です。

8月19日（月曜日）、東中野区民活動センターで行われた、まちなかサロン「いろり」の活動取材しました。

まちなかサロンは、地域の皆さんが気軽に集える憩いの場です。中野区社会福祉協議会のサポートのもと、おしゃべりや音楽、食事など、地域の方が工夫をこらして運営をしています。

いろりでは、季節の遊びや懐かしの歌、手話ダンスをしながら一緒にお茶を飲み、交流をします。この日は20人ほど集まり、輪投げと手話ダンスを楽しんでいました。

輪投げは、ただ輪を投げて楽しむだけでなく、落ちた輪を拾いに行くことで下半身の運動ができます。また、点数を暗算することで頭の体操にもなり、一石三鳥の効果があります。先生は中野区で優勝するほどの実力者。みなさん、お手本を見て拍手。いざ私もチャレンジしましたが、届かなかったり、左右にずれてしまったり意外と難しい…。「一呼吸おいて！」「頑張っ！」「惜しい！」と応援の声が飛んできました。

輪投げの後は手話ダンス。10月の地区まつりで披露するために、みなさん練習を重ねているそうです。先生と一緒に歌に合わせて、細かく手話を確認しながら踊ります。最後はちびナカノさんも並んでダンスしました。

休憩時間もあちこちから笑い声が聞こえ、和気あいあいとした雰囲気。毎回参加されている方は、「たくさんの人とおしゃべりができ、ありがたい」と楽しそうに話していました。

地域の憩いの場として笑顔あふれるまちなかサロンは、人と人をつなげ、交流を広げる大切な場であると感じました。

中野区町会連合会のホームページも併せてご覧ください。

<http://nakano-chokai.jp>

以上、町会ひよこ「見習い」がお伝えしました。

